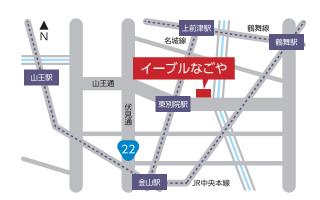


2024年9月21日(土)

午後1時半~午後4時 参加費無料

イーブルなごや 3F 大研修室

(オンライン配信はありません)



申込方法

右記二次元コードより、お申し込みください。

参加申込期限 2024年9月19日(木)



支援が必要な場合は、9/12 までにお申し出いただきましたら手話通訳のご準備をさせていただきます。

「台湾有事は日本有事」「抑止力を高めることが必要」と 宣伝され、急激な軍事力の増強にも異論を唱えにくい空気が 作られています。

しかし、果たして「台湾有事」は「日本有事」と捉えていいのか。そもそも戦争の危険が高まっているのか。「抑止力」政策しか取りえないのか。

防衛省の元高級官僚で、政府の内閣官房副長官補・安全保 障担当を務められた柳澤協二さんをお招きし、多角的に情勢 を捉え直し、戦争をさせないために何ができるのか、皆さん と考えあいたいと思います。

第1部 講演 柳澤協二氏による講演 第2部 対談 柳澤協二氏、川口創弁護士



講師 柳澤協二氏

(元防衛省防衛研究所所長、元内閣官房副長官補)

<プロフィール>

1970年東大法学部卒業後防衛庁入庁、運用局長、人事教育局長、官房長、防衛研究所長を経て、2004年~2009年、小泉・安倍・福田・麻生政権で内閣官房副長官補(安全保障・危機管理担当)。北朝鮮の核・ミサイル実験、尖閣警備、自衛隊のイラク・インド洋派遣、海賊対策などに従事。第1次安倍政権では「安保法制懇」の事務局に参加。退官後、第2次安倍政権が進める「憲法解釈の見直し」に批判的立場で発言を続けている。現在、NPO法人国際地政学研究所理事長、同・新外交イニシアティブ理事。